

平成27年7月10日

平成27年度安全衛生マネジメントシステム活動計画表

部局等名 大学院理工学研究科理学系等

役職等

推進者 安全管理室長

氏名

小松隆之

活 動 目 標

理論系および実験系の各研究室で、リスク要因を洗い出し、作業環境の改善に努める。
実験系の研究室では、実験研究に係るリスクアセスメントを一層強力に推進する。特に、定期的な実施を徹底する。また理学系安全室では、事故報告・ヒヤリハットの分析を通じて、理学系全体にフィードバックを行う。
特に、リスクアセスメント項目を専攻単位で共有して、より行き渡ったアセスメント活動を行う。

実 施 内 容

1. 理学系安全室は、事故例を教授会やメール等を通して知らせ、安全な研究環境維持の意識を高める。
2. 各専攻は、リスクアセスメント項目リストの作成とリストの各研究室へのフィードバックを行い、専攻全体でリスクアセスメントの共有化に努める。
3. 各研究室等は、健康安全手帳を利用し、各研究室の実状に合った新人教育とリスクの洗い出し・対処を進める。

実験系および非実験系

- ①3S活動(整理・整頓・清掃)の励行
- ②通路(避難路)の安全確保(転倒防止、通路幅の確保、緊急時の連絡票等の整理・確認など)
- ③電気(配線、プラグ、ジャンクションなど)
- ④VDT(Visual Display Terminals)作業
- ⑤健康管理(在室時間の見直し、個々の学生の状況把握、教職員にあっては過重労働の防止、熱中症、食中毒、感染症防止など)

実験系

- ①化学物質(リスク×暴露量)
- ②機械(マニュアルの整備など)
- ③レーザー、放射線、高圧ガス、寒剤、ガラス工作など